

No Bigger, No Better:

Consolidation among Japan's Regional Banks

和文要旨

本論文では、経営統合の形態によって経営統合の効率性に影響があるかどうかを分析する。2000年以降15年間の全地域銀行の財務データから、銀行持株会社方式の経営統合と合併方式の経営統合とでは効率性への影響が違うことが判明した。地域銀行の経営統合は銀行の利益の効率性を上昇させる。しかし、その効果はほとんど合併方式の経営統合に表れ、銀行持株会社方式の経営統合の場合は、利益の効率性が逆に減少する。これは「規模の経済」と「範囲の経済」の影響を補正しても頑健である。この結果は、現在金融庁が推奨している銀行持株会社方式の統合の政策的方向に疑問を呈することになった。